

平成 17 年 5 月 11 日

各位

会社名	オムロン株式会社
代表者名	代表取締役社長 作田 久男
コード番号	6645
上場取引所	東証、大証、名証各市場第一部
問合せ先	経営総務室 広報部長 生越 多恵子
TEL	075 344 7175

コーリンメディカルテクノロジー株式会社の全株式を取得

オムロン株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：作田久男、以下オムロン）は、本日（平成 17 年 5 月 11 日）開催の当社取締役会において、当社 100%子会社であるオムロン ヘルスケア株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：赤星慶一郎、以下オムロンヘルスケア）を通じ、コーリンメディカルテクノロジー株式会社（本社：小牧市、代表取締役社長：神部悠三氏、以下 CMT）の株式の 100%をカーライル・グループ（本社：米国ワシントン D.C.、日本における代表者：安達 保氏、以下カーライル）などから取得することを決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件株式取得は本年 6 月中旬を予定しております。

これにより、オムロンヘルスケアは家庭向け血圧計、体組成計をはじめとする家庭用健康医療機器と、CMT のもつ生体情報モニター、血圧監視装置、動脈硬化検査装置などの医療機関向け医療機器を保有することとなり、手術室・病棟から家庭までの幅広いフィールドでの生体計測機器を提供するユニークな企業となります。また、各々が得意とする事業領域および技術を補完し合うことで、医療と家庭を結びつけた予防医療市場を創造し新たな価値を提供してまいります。

記

1. 今回の背景

オムロンのヘルスケア事業を担うオムロンヘルスケアは、医療機器・サービス業界における事業最適化による成長を目的に、平成 15 年 7 月にオムロンより分社しました。以後、順調に事業を拡大し、平成 16 年度ヘルスケア事業は売上高 506 億円、営業利益 76 億円を達成しました。今後、「家庭用血圧計」「家庭用体組成計」「体温計」「ネブライザ」などの家庭用健康医療機器のグローバル市場規模は、平成 15 年度の 1,135 億円から平成 22 年度には 1,500 億円へと堅調に拡大すると予想されます。しかしながら、本市場においてオムロンヘルスケアは既に高い市場占有率を獲得していることや、アジアのローコストメーカの市場参入にみられるような競合激化の状況を考えると、事業成長には新たな事業領域の獲得が必要でした。

一方、先進諸国を中心に一層の高齢化が進行するなかで高血圧や糖尿病などの生活習慣病患者も増加しており、予防医療が国家施策として推進されはじめています。このような状況下で家庭と医療現場をつないだ予防医療市場が形成されつつあり、新たなビジネス機会が生まれてきています。

2. 今回の目的

上述した背景のなかで今回の株式取得は、医療機関向け生体計測機器事業の獲得による事業拡大とシナジー追求、および予防医療市場の創造を主な目的としています。詳細はつぎのとおりです。

(1) 血圧計測領域における事業の拡大

医療現場（手術室・病棟）から家庭での血圧計測技術・商品の保有によるブランド力の強化
次世代血圧計測技術の開発
CMT商品の海外での販売強化

(2) 予防医療市場の創造

両社の保有する動脈硬化計測技術・機器による同市場の確立
生活習慣病管理プログラムと医療機器の組み合わせによる予防診療支援システムの確立
家庭と医療を結ぶビジネスの機会探索と事業化

(3) CMT商品のコスト競争力の強化

部材の共同購買の検討と実施
オムロンヘルスケアの生産拠点の活用検討と実施
共同物流の検討と実施

3. 今後の事業計画

今後、オムロンヘルスケアはCMTの役員、従業員の雇用およびコーリンブランドの維持とマネジメントの自律性の発揮を基本としながら、CMTとの最大限のシナジーを追求していきます。これによりヘルスケア事業のさらなる成長と収益の拡大を加速し、平成19年度に同事業で売上高750億円、営業利益率で15%以上の達成を目指します。

4. 各社コメント

<オムロン>

オムロンは、医療市場の予防医療へのシフトという環境変化をとらえて、ヘルスケア事業を成長事業の一つと認識しています。この変化に対応するために、平成15年7月に対象事業部門をオムロンヘルスケアとして分社し、事業スピードの向上と事業提携の加速を図ってきました。今回、カーライルの支援により事業基盤を再構築したCMTは、オムロンヘルスケアと、製品・市場の両面で補完関係を構築することができ、かつ同時に新たな事業機会の創出に必要なパートナーであると考え、同社の株式を取得することを決定いたしました。

<CMT>

平成15年の営業譲渡以来、カーライルの首尾一貫した強力かつ全面的な支援のもと、諸問題を解決し、予想以上にスピーディーに再生を果たす事ができました。弊社が医科向け血圧計のトップメーカーであるのに対し、オムロンヘルスケアは家庭向け血圧計のトップメーカーです。両社が一緒になることによりこれまでCMT単体ではなし得なかった新たな事業領域への拡大ならびに新たな成長が可能となり、CMTのミッションである「医療事故1/100」「寝たきり老人1/2」の実現に大きく近づくことが出来るようになるものと考えております。具体的には、今後急拡大が予想される在宅医療市場向けに高品質かつ安価な医療機器の開発や、動脈硬化測定装置に続く新たな生活習慣病予防に向けた医療機器の開発、さらにはグローバル展開の推進などで大きなシナジーが期待されます。

<カーライル>

カーライルは平成15年10月以来カーライル社員の愛知県小牧市への長期派遣を含め、CMTへの積極的な支援活動を展開して参りました。旧会社より引き継いだ流通在庫問題、特許訴訟を解決し、その後の法的手続変更の際しても一貫した支援姿勢を貫き、一方ではグローバル企業との業務提携の斡旋などを通じ、CMTの企業価値向上に努めました。その結果、平成16年度において営業利益約3億円の黒字化を達成するまでに至りました。こうした中、従前から事業提携を検討していたオムロンヘルスケアから株式譲渡の打診があり、CMT経営陣と協議した結果、CMTの次の成長のためには、事業シナジー効果が高くかつCMTの企業文化、独立性を評価されているオムロンヘルスケアが新たな株主となるほうがCMTにとって好ましいと判断したものです。

本件はカーライルにとってもチャレンジングな案件でしたが、CMTの迅速な再生を実現し、次なる成長を目指す体制を作ることができ、ファンドとしての責任を果たすことができたものと満足しております。

子会社となる会社の概要

- (1) 商号 コーリンメディカルテクノロジー株式会社
(2) 代表者 代表取締役社長 神部悠三
(3) 本店所在地 愛知県小牧市林 2007 番地 1
(4) 設立年月日 平成 12 年 5 月 17 日
(5) 主な事業内容 生体情報モニタ、血圧監視装置および血圧脈波検査装置、ならびにその関連機器の開発、製造、販売
その他医療機器の開発、製造、販売
(6) 決算期 12 月末日
(7) 従業員数 284 人 (平成 17 年 1 月 4 日現在)
(8) 主な事務所 本社、支店および営業所 23 カ所
(9) 資本金 1,018 百万円
(10) 発行済株式総数 40,525 株 (平成 17 年 4 月 30 日現在)
(11) 大株主構成

株主名	株式数	所有割合
カーライル・グループ	38,280 株	94.5%

(平成 17 年 4 月 30 日現在)

(12) 最近事業年度における業績の動向

	平成 16 年 12 月期
売上高	8,599 百万円
総資産	6,858 百万円

株式の主な取得先

- | | |
|-------------|--------------------|
| (1) 取得先 | カーライル・グループ |
| (2) 代表者 | Daniel A.D'Aniello |
| (3) 本店所在地 | ワシントン D.C. |
| (4) 主な事業の内容 | 投資事業 |
| (5) 当社との関係 | なし |

取得株式数および取得前後の所有株式の状況

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0 株 (所有割合 0%) |
| (2) 取得株式数 | 40,525 株 |
| (3) 異動後の所有株式数 | 40,525 株 (所有割合 100%) |

日 程

平成 17 年 5 月 11 日 取締役会決議
株式譲渡契約締結
株式譲渡期日は平成 17 年 6 月中旬を予定

今後の見通し

本件の株式取得に伴う業績への影響は軽微であるため、平成 17 年 4 月 27 日発表の当社の連結および単独の業績予想に変更はありません。

報道関係お問い合わせ先

オムロン株式会社

広報部長:生越、広報部:小嶋、川元
〒600-8530
京都市下京区塩小路通堀川東入
TEL:075-344-7175 FAX:075-344-7170

オムロンヘルスケア株式会社

広報渉外部長:竹田、広報渉外部:飯島、富田
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-4-10
TEL:03-3436-7290 FAX:03-3436-7084

京都広報渉外部

〒615-0084 京都市右京区山ノ内山ノ下町 24 番地
TEL:075-322-9308 FAX:075-322-9303
E-Mail:pr_ohq@omron.co.jp

以上